

## 2018年9月理事会議事録

日 時：2018年9月22日（土）14：00～16：40

場 所：日本考古学協会事務所

出 席：谷川章雄・近藤英夫・矢島國雄・植田 真・小笠原永隆・小澤正人・河村好光・  
佐古和枝・佐々木和博・佐々木憲一・関根達人・滝沢 誠・谷畑美帆・都築恵美  
子・中嶋郁夫・萩野谷 悟・松崎元樹・馬淵和雄・長瀬 衛、監事：橋本裕行、  
（事務局：林 純子・堀田菜摘子）

欠 席：大島直行・菊池誠一・杉井 健・堀内秀樹・宮里 修・唐澤至朗

進 行：小笠原永隆

議 長：谷川章雄

小笠原理事から、本日の出席者は20名で過半数に達しており、本理事会が成立することが報告され、議事に入った。

### 会員の訃報について

小笠原理事から、鹿児島県の中山清美会員が2016年7月10日、栃木県の前澤輝政会員が2018年5月2日、千葉県の小松 繁会員が8月8日、群馬県の外山和夫会員が8月12日に亡くなられたとの報告があり、哀悼の意を表した。

### 議案第493号 会費納付の取扱いについて

都築理事から、将来構想検討小委員会での検討を重ねた結果、安全管理上の対策から、総会時の現金による会費納付については、2019年度の第85回総会から取扱いを廃止する。また、これに伴い、会費納付の利便性を高めるため、会費入金用の銀行口座を開設する。なお、協会から送付している納付書による郵便振替口座への振込以外の手数料については、会員負担とするとの説明があり、審議の結果、承認した。

続けて、会費の前納状況が約30%ほどであることから、会費前納の原則を周知するために会員への広報及び督促を強化し、前年度の会費未納者については、①総大会での研究発表・セッション並びに図書交換会への申込み、及び機関誌への投稿はできない。②原則として会報以外の刊行物の配布を停止する。また、③理事及び委員は会費の滞納者ではないこととする、との運用基準の提案があり、一部修正の上、承認した。

### 議案第494号 料金改定に伴う刊行物の発送について

萩野谷理事から、総大会の欠席者に着払いで送付している機関誌・年報・発表要旨について、これまで総会時の発送に使用していたゆうメール規格外の取扱いが2018年9月から廃止されたことに伴い、発送方法の見直しが必要になったとの説明があった。今後も現行通りの刊行物の組合せで送付した場合、宅配便利用により180円～610円ほど高額となり会員負担に地域差が出る。その対応の前提として、会員負担の着払いは全国一律を維持し、加えて協会の負担分を増額しないように発送方法の見直しを検討したところ、①総会欠席者への発送については、ゆうメールの規格内で発送可能な機関誌・発表要旨の2冊とする。

②年報については、8月会報と合わせて、ヤマトDM便で発送する見直し案が提案され、原案通り承認した。なお、ヤマトDM便も摘要範囲があるため、年報のスリム化が必要であり、年報担当理事を含めて早急に方針を検討する。

#### **議案第495号 70周年記念講演会について**

矢島副会長から、2019年度の70周年記念講演会を依頼している岩宿博物館から、毎年開催している市民講座の岩宿大学と関連する公開講座、及び岩宿遺跡70周年の特別展の開催を検討中であり、日本考古学協会70周年記念事業と関連して行いたいとの提案があるとの説明があった。審議の結果、講座及び特別展の共催・後援を承認した。

#### **議案第492号 退会の承認について**

中嶋理事から、富山県の\*会員、長野県の\*会員、愛知県の\*会員・\*会員、和歌山県の\*会員、島根県の\*会員の6名から2018年度をもっての退会届が提出されている旨の報告があり、退会を承認した。

#### **報告第671号 2018年度静岡大会について**

中嶋理事から、「大会実施要項」に基づき、日程と各理事の役割分担について確認があり、了承した。続けて小澤理事から、静岡大会における英文機関誌編集委員会によるプレナリーセッションについて、各理事に参加が求められた。

#### **報告第672号 入会資格審査について**

植田理事から、2019年度新入会員の入会資格審査委員16名の報告があり、了承した。

#### **報告第673号 70周年記念出版物の刊行について**

矢島副会長から、①機関誌『日本考古学』設立70周年特集号については10月の2018年度静岡大会で予定通り刊行できる行程で進んでいる。②『日本考古学・最前線』についても2018年度静岡大会での刊行を目指している。なお、当初はハードカバーの装丁を予定していたが、軽装版として一般に購入しやすい価格にしたいとの提案が雄山閣からあり、編集委員会で検討して装丁を決定するとの説明があり、了承した。

#### **報告第674号 2019年高校生ポスターセッションについて**

河村理事から、第85回（2019年度）総会における高校生ポスターセッションについて、ポスター・ちらしを作成し、都道府県教育委員会・教育研究会や歴史・考古学系の活動を行っている高等学校等へ送付したことが報告され、了承した。また、各理事に高校生ポスターセッションの広報について協力が求められた。

#### **報告第675号 平成28年熊本地震対策特別委員会報告**

近藤副会長から、①8月9日（木）に熊本で復興関連発掘調査及び文化財の修復状況について現地調査を行うとともに、10日（金）に被災自治体との面談を行い、各地の現況・課題について伺った。②面談後、続けて委員会を開催し、今後の活動計画を協議し、熊本

県において復興支援に伴う埋蔵文化財調査の成果報告会を開催する予定であるとの報告があり、了承した。

#### **報告第676号 埋蔵文化財保護対策委員会報告**

松崎理事から、7月21日（土）に7月幹事会を開催し、①西日本豪雨における会員及び文化財被災状況について確認し、引き続き情報収集を行っている。②北本市デーノタメ遺跡について、都市計画案があることから、現地視察の実施を調整する。③鎌倉市大倉幕府跡について、建設計画が立ち上がっていることから、今後の動向を注視する必要がある。④「文化財保護法及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正についての意見」表明について、案文の検討を行ったとの報告があった。

また、9月15日（土）に9月幹事会を開催し、①静岡大会における情報交換会・ポスターセッションについて協議した。②四国連絡会から、西日本豪雨の被災状況について集約中であるとの報告があった。③九州・沖縄連絡会から、西日本豪雨で被害を受けた国特別史跡基肆城跡の現地視察を実施する予定であるとの報告があり、了承した。

#### **報告第677号 中国河南省文物局文化財情報資源収集、古代遺跡・文化財保護・活用研修団の協会訪問について**

小澤理事から、8月29日（水）に中国河南省文物局文化財情報資源収集 古代遺跡・文化財保護・活用研修団が日本考古学協会事務所に来訪し、近藤副会長・小澤理事・長瀬事務局長・橋本監事が対応にあたり、日本考古学協会の役割及び取り組み等を説明し、意見交換を行ったとの報告があり、了承した。

#### **報告第678号 広報委員会報告**

小澤理事から、7月13日（金）に委員会を開催し、公式サイトの充実に向けて、初等教育に考古学の成果を反映できるコンテンツとして「子ども考古学教室（仮）」の作成について協議したとの報告があった。続けて佐古理事から、作成方法や項目等の補足説明があり、了承した。

#### **報告第679号 社会科・歴史教科書等検討委員会報告**

佐々木和博理事から、9月16日（日）に委員会を開催し、①2018年度静岡大会でのポスターセッション内容について協議した。②広報委員会から、協会公式サイトの「考古学と教育」コンテンツの充実に向けて協力依頼があり、検討を行った。リニューアルに当たっては、新たに子ども向けや教員向けコンテンツを掲載する方向性で進めていく予定であるとの報告があり、了承した。

#### **報告第680号 「百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産推薦に関する見解」の発表について**

滝沢理事から、7月理事会議案第488号で賛同を表明した「百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産推薦に関する見解」について、体裁を整える等一部修正した最終案が提示され、最終的に13学協会が賛同し、9月28日に報道発表することになったとの説明があり、了承した。

#### 報告第681号 『日本考古学年報』に関するアンケート結果報告

小笠原理事から、2017年8月に実施した『日本考古学年報』に関するアンケート結果について、『会報』に掲載する必要があることから、集計結果報告が提示された。各項目の分量及び配布方法については概ね現状で適正であるとの回答を得たが、装丁やWEB掲載及びその際の冊子の必要性については意見が分かれている。特に、WEB掲載を行った際の冊子の必要性については年齢層によって意見が異なっているとの報告があった。続けて谷川会長から、『日本考古学年報』を始めとする刊行物は販売しており、協会の収入源ともなっているとの補足説明があり、了承した。

以 上